

令和元年度 農林水産物直売所実態調査結果の概要

本調査は、県内の農林水産物直売所の活動実態を把握することを目的として、令和元年12月に実施したものです。調査時点は、平成31年3月末現在です。

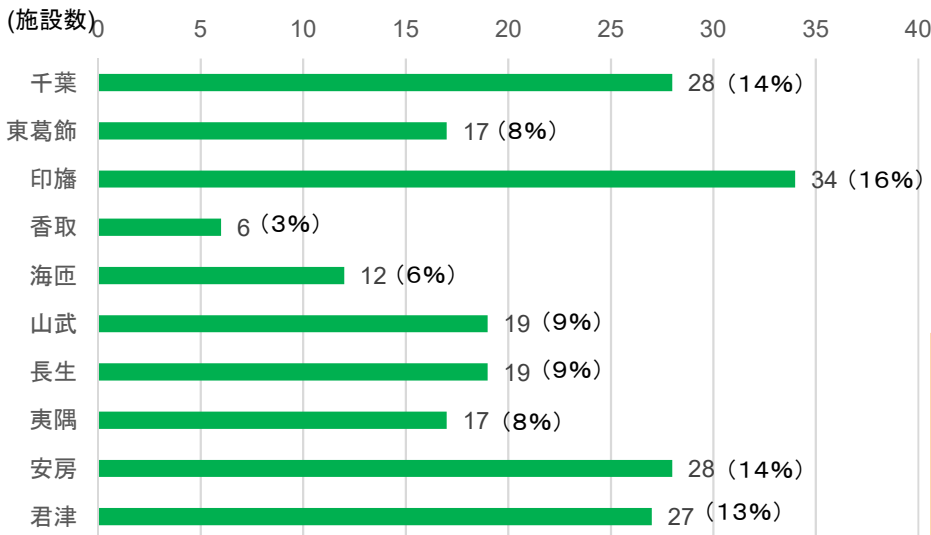
1. 施設数、出品農林漁家数、売り場面積、年間購入者数、年間販売額の状況

県内には207の直売所が運営されており、平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の年間販売額は、回答を得た179施設で約268億円にのぼり、1箇所当たりの平均販売額は、約1億5千万円となった。

調査年度	施設数 (箇所)	出品農林漁家数 (戸)	売り場面積 (㎡)	年間購入者数 (千人)	年間販売額 (百万円)
元年度	207	18,797 (回答数199)	47,535 (回答数 201)	18,211 (回答数 176)	26,781 (回答数 179)
1箇所当たり	-	94.5	236.5	103.5	149.6

2. 地域別設置状況(回答数207)

千葉・印旛・安房・君津地域では多くの直売所が設置され、香取・海匝地域では少ない。

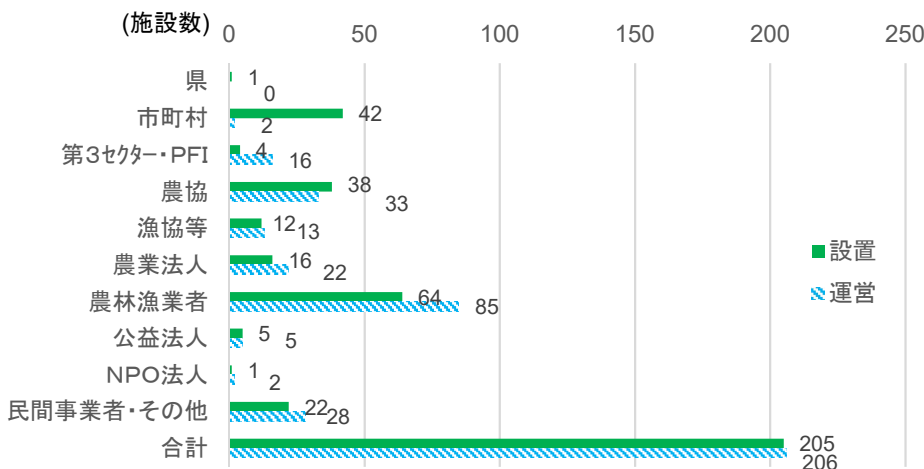


調査対象

農林水産物を消費者に直接対面で販売する有人施設で、次のいずれにも該当する施設
 ア 県、市町村、公益法人、第3セクター・PFI、農協・漁協等、農業法人、NPO法人、3戸以上の生産者が設置又は運営している施設(民間事業者が運営する場合、役員半数以上が農林漁業者であること)
 イ 建物があり、常設・通年営業(土日の営業のみ含む。)の施設

3. 設置・運営主体(回答数206)

農林漁業者の任意団体で運営している施設が85箇所(全体の41.3%)と最も多い。

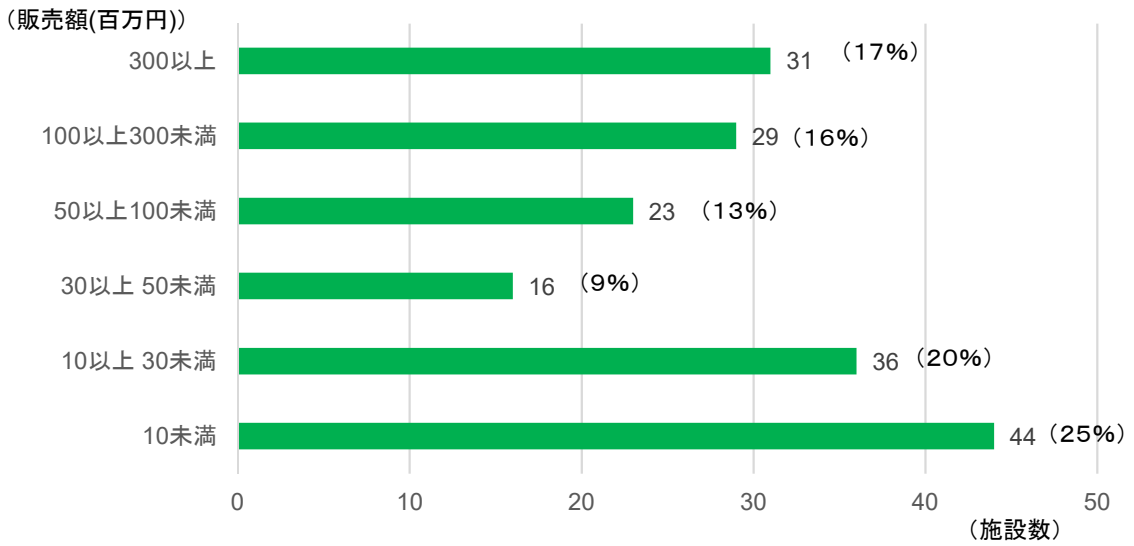


調査時点

平成31年3月31日
 年間購入者数及び年間販売額については、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの実績
 (年間購入者数及び年間販売額は、報告があっても調査期間の途中で新設又は廃止している直売所の実績は除外した。)

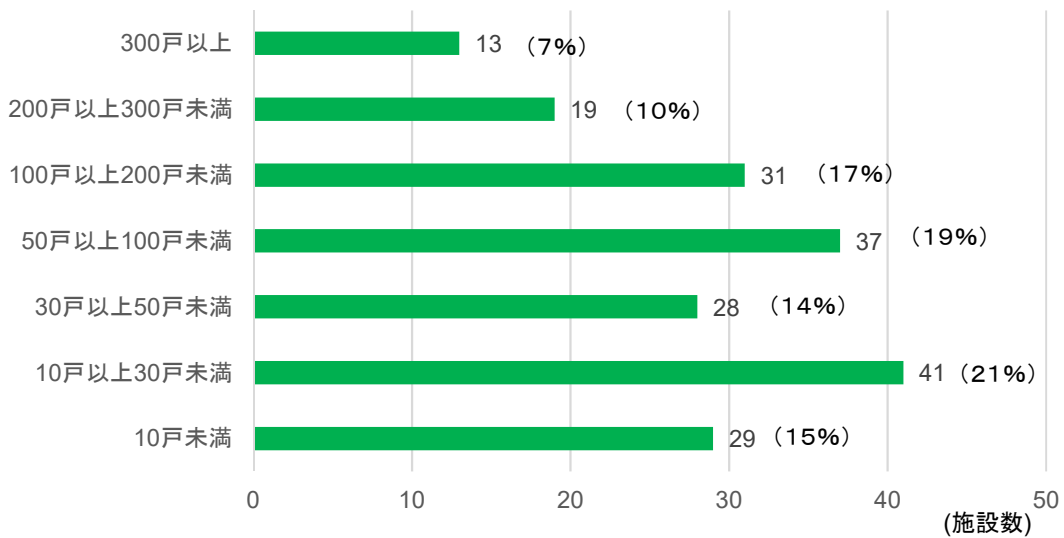
4. 年間販売額別の施設数(回答数179)

1千万円未満の直売所から3億円を超える直売所まで幅広い。



5. 出品農林漁家数(回答数198)

10戸以上30戸未満が41箇所でも多く、300戸以上の農林漁家が出品する大規模な直売所は13箇所ある。

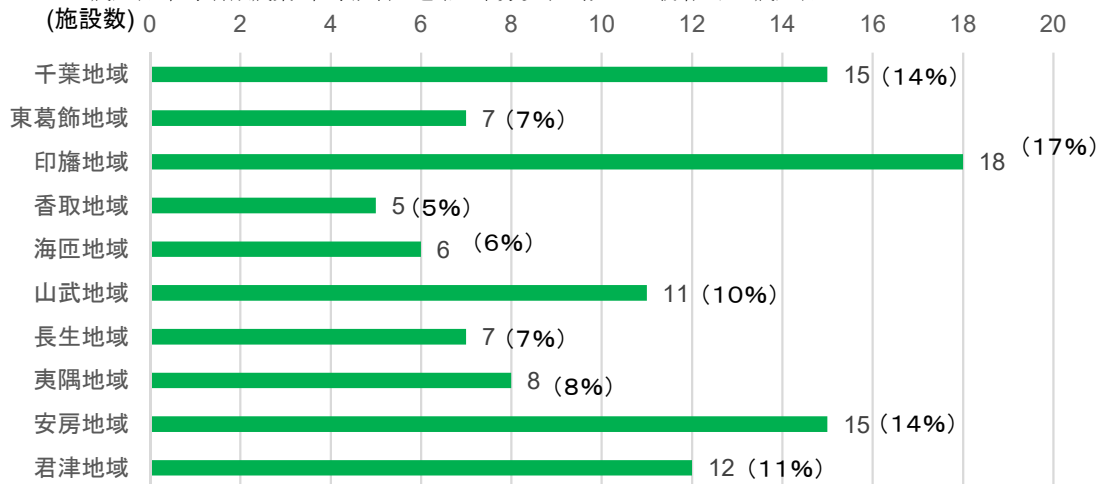


6. ちばエコ農産物※取扱直売所数(回答数201)

(取扱のある104施設中の割合(%))

ちばエコ農産物は、104箇所(回答施設の51.7%)で取り扱われており、昨年度に比べ3箇所減少した。

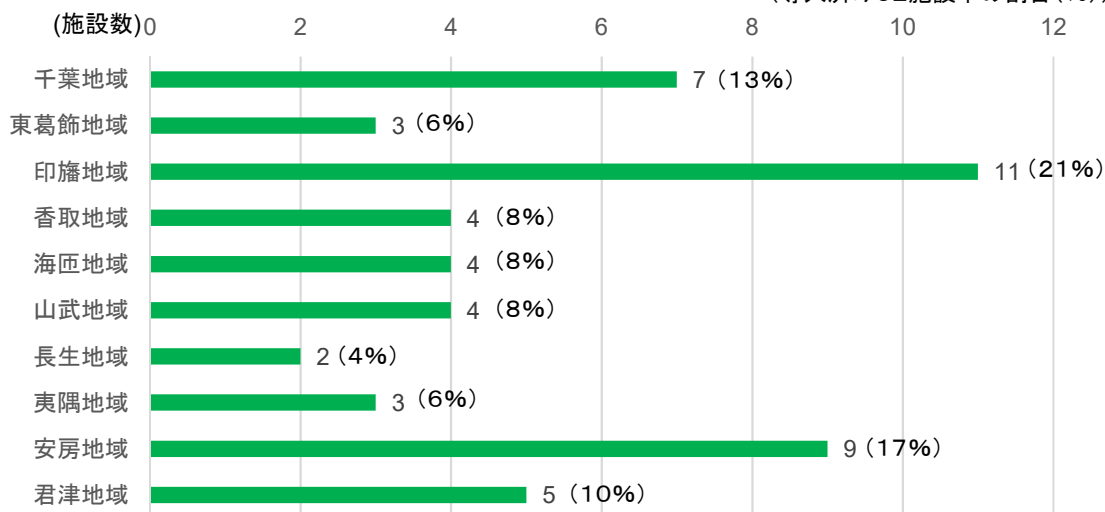
※ ちばエコ農産物:化学合成農薬と化学肥料を通常の半分以下に減らして栽培された農産物



7. 電子決済導入直売所数(回答数 150)

電子決済は、52箇所(回答施設の34.7%)で導入されている。

(導入済み52施設中の割合(%))



〔参考〕施設数、平均年間購入者数、平均年間販売額の推移

施設数は近年減少傾向であり調査開始時を下回った。また、1箇所当たりの平均年間販売額及び平均年間購入者数は、穏やかに増加している。

